

知の役割

人間文化研究のめざす道を考える

人間文化研究機構 第12回公開講演会・シンポジウム

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構は、国立歴史民俗博物館・国文学研究資料館・国立国語研究所・国際日本文化研究センター・総合地球環境学研究所・国立民族学博物館の6研究機関から構成されています。人文科学を基礎に、人間と自然環境の関わりも視野に、人間文化を総合的に研究する大学共同利用の研究拠点です。

人間文化研究のめざす道を考える
急速な変化を遂げ、地球規模で複雑化しつつある現代社会。そこで、私たちは、自らの育んできた文化、国際社会における日本文化の意義、人間と自然との関わりなどについて、考え方を求めています。人間文化研究機構は、このような課題に立ち向かう人間文化研究の発展を目指しています。

基調講演

世界の文化と日本の文化

ドナルド・キーン(コロンビア大学名誉教授)

〈批評〉と〈臨床〉——人文学と社会との距離について
鶴田清一(大阪大学総長)

パネルディスカッション

人間文化研究の現代的意義

日本史、古典文学、日本語学、民俗学、人類学、環境学、国際日本研究などの人間文化研究の諸分野の研究者に、研究のおもしろさと課題を討論していただきます。

司会:金田章裕(人間文化研究機構長) / 地理学

シュテファン・カイザー(筑波大学名誉教授) / 日本語学

五味文彦(東京大学名誉教授・放送大学教授) / 日本中世史

篠原 徹(滋賀県立琵琶湖博物館館長) / 民俗学

田渕句美子(早稲田大学教授) / 日本中世文学

古澤 巍(鳥取環境大学学長) / 環境学

山本真鳥(法政大学教授) / 文化人類学

2010年7月9日金

13時~17時 [12時30分 開場]

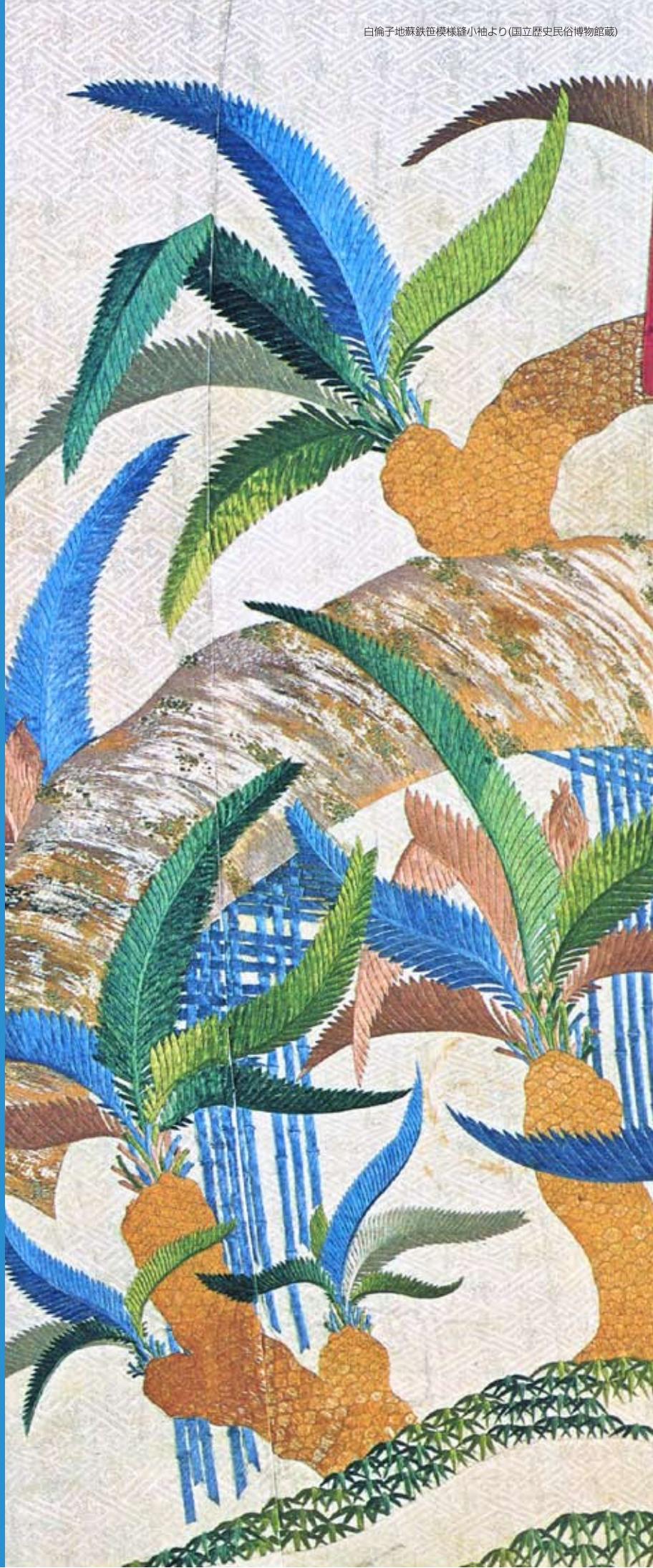
有楽町朝日ホール

東京都千代田区2-5-1 有楽町マリオン11階

[聴講無料] お申し込みは先着400名



主催=大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 神谷町セントラルプレイス2階
TEL:03-6402-9200(代表) FAX:03-6402-9240



国立歴史民俗博物館



国文学研究資料館



国立国語研究所



国際日本文化研究センター



総合地球環境学研究所



国立民族学博物館

